

■ contribのWindowsでの対応状況

・ビルド時にvcxprojファイルが生成され、インストール時にライブラリがlib配下に配置される場合に○としています。

拡張機能名	マニュアル記載箇所 (PostgreSQL 10)	Windows対応状況	拡張機能概要 (Windows対応状況が「×」の場合のみ)	備考
adminpack/	F.1	○		
amcheck/	F.2	○		
auth_delay/	F.3	○		
auto_explain/	F.4	○		
bloom/	F.5	○		
btree_gin/	F.6	○		
btree_gist/	F.7	○		
chkpass/	F.8	○		
citext/	F.9	○		
cube/	F.10	○		
dblink/	F.11	○		
dict_int/	F.12	○		
dict_xsyn/	F.13	○		
earthdistance/	F.14	○		
file_fdw/	F.15	○		
fuzzystrmatch/	F.16	○		
hstore/	F.17	○		ビルド時に「perl」「python」指定することでそれぞれ「hstore_plperl」「hstore_plpython」が生成される。
intagg/	F.18	×	intaggモジュールは整数型の集約子と列挙子を提供します。その能力の上位集合を提供する組み込み関数が存在しますので、intaggは現在使われません。しかし、このモジュールは組み込み関数の互換ラップとして今でもまだ提供されています。	
intarray/	F.19	×	intarrayモジュールはNULLのない整数の配列の操作に便利な関数と演算子を多く提供します。また、一部の演算子を使用したインデックス検索をサポートします。	
isn/	F.20	○		
lo/	F.21	○		
ltree/	F.22	○		
pageinspect/	F.23	○		
passwordcheck/	F.24	○		
pg_buffercache/	F.25	○		
pg_freespacemap/	F.27	○		
pg_prewarm/	F.28	○		
pg_stat_statements/	F.30	○		
pg_trgm/	F.32	○		
pg_visibility/	F.33	○		
pgcrypto/	F.26	○		
pgrowlocks/	F.29	○		
pgstattuple/	F.31	○		
postgres_fdw/	F.34	○		
seg/	F.35	○		
sepgsql/	F.36	×	sepgsqlは、SELinuxのセキュリティポリシーに基づいた、ラベルベースの強制アクセス制御 (MAC; Mandatory Access Control) 機能を提供するモジュールです。	
spi/	F.37	○	spiモジュールは、SPIおよびトリガを使用した、動作可能な例を複数提供します。	他の拡張機能とインストール先が若干異なる。 ■Linuxの場合 *sampleは \${PREFIX}/share/doc/postgresql/extension/ *.soは \${PREFIX}/lib/postgresql、*.sqlは \${PREFIX}/share/postgresql/extension/ にインストールされる。 ■Windowsの場合 *sampleは \${Installコマンド}でしているディレクトリ%doc%extension、*.dllは \${Installコマンド}でしているディレクトリ%lib、*.sqlは \${Installコマンド}でしているディレクトリ%share%extension にインストールされる。
sslinfo/	F.38	×	現在のクライアントがPostgreSQLに接続する際に提供する SSL 証明書に関する情報を、sslinfoモジュールは提供します。インストールを--with-opensslオプション付きで構築しない限り、この拡張は全く構築されません。	ビルド時に「openssl」指定が必要
tablefunc/	F.39	○		
tcn/	F.40	○		
test_decoding/	F.41	○		
tsm_system_rows/	F.42	○		
tsm_system_time/	F.43	○		
unaccent/	F.44	○		
uuid-osspl/	F.45	×	uuid-ossplモジュールは複数の標準的なアルゴリズムの1つを使用して汎用一意識別子 (UUID) を生成する関数を提供します。	ビルド時に「uuid」指定が必要
xml2/	F.46	×	xml2モジュールはXPath問い合わせとXSLT機能を提供します。PostgreSQL 8.3から、SQL/XML標準に基づくXML関連の機能はコアサーバ内に存在します。その機能は、XML構文検査、XPath問い合わせなど本モジュールが行なうことと同等のこととそれ以上のことを範囲としますが、APIには互換性はありません。新しい標準APIのため、本モジュールは今後のバージョンのPostgreSQLで削除される予定ですので、アプリケーションの変換が推奨されています。	ビルド時に「xml」指定が必要